

学校紹介

津森小学校



気づき
思いやり
高めあい

津森小学校は、全校児童95人（8学級）1年生から6年生まで一緒に遊び仲良く生活する学校です。
また、津森校区は豊かな自然と徳富蘇峰・四賢婦人など著名な先人を持つ地域であり、子どもたちは地域の方々に温かく見守られながら成長しています。

「豊かな人・自然・文化・歴史」

地域とのつながり



夕暮れまですもうの練習

津森小では、伝統的に『すもう』に取り組んでいます。高遊原相撲大会前の夏休み中から、相撲部活動の練習を始め、男女協力しながら練習します。練習には、地域の方も指導に来られ、学校と地域と一緒に子どもたちの健全育成を図っているところです。
少数の学校ですが、多くの子どもたちが参加し、毎年練習を積み重ねていますので、相撲をとることへの誇りと自信が、顔や体に表れています。練習には地域の方やPTAの協力があり、試合にもたくさんの方が応援に来られます。
勝ち負けだけでなく、一生懸命に取り組む子どもの姿は、地域の活力にもつながっています。

豊かな体験活動

津森校区は、豊かな自然を利用しての農業が盛んです。津森小学校には、地域の方

から寄贈された『伍三郎農園』があります。

伍三郎さんは、旧津森村の村長で、津森村の発展や人々の暮らしのために尽力された方です。そのご子息から寄贈された農園に、じゃがいも、とうもろこし、大根、さつまいも、ほうれん草等々、PTAの協力を頂きながら、子どもたちの手で育て収穫しています。収穫時には、両手に持ちきれないほどの野菜を持ち帰ったり、益城町の学校給食で使っていたりしています。
また、学校近くを流れる木山川にウナギの放流をしたり、学校の梅林の梅を梅干しにしたり、収穫した野菜で漬け物を漬けるなど、自らの体験を通して「自然の大切さ」を学んでいる学校です。



とうもろこしがとれたよー！



一つぶ一つぶ大事に植えました